

J-POWERのプロフィール

J-POWER (電源開発株式会社)は、日本の電力供給の増加を目的として、1952年に政府によって設立されました。以来、卸電気事業者として低廉かつ安定した電力を地域電力会社を通じて全国に供給するとともに、全国規模での基幹送電線の建設運用を行い、わが国の経済発展と国民生活の向上に貢献し、2004年10月には東京証券取引所市場第一部に上場し、完全民営化を果たしました。

現在では、水力・火力発電による電力卸売りや保有する送・変電設備による電力託送に加え、培った技術・ノウハウを活用して海外発電事業や新エネルギーの開発などに事業を拡大しています。

国内電力事業

コアビジネス:卸電気事業

■ 全国 **67**カ所の発電設備、全国の設備シェア:**7%**^{*1}

火力発電: 当社売上の6割を占める事業の柱

- 石炭火力の発電設備出力(約**780**万kW):シェア**21%**(全国**1**位)
- コスト競争力を背景とした高い設備利用率

水力発電: ピーク対応に不可欠な電源

- 発電設備出力(約**860**万kW):シェア**19%**(全国**2**位)

送・変電: 地域間をつなぐ基幹インフラ

- 亘長**2,400**kmにおよぶ基幹送電線や周波数変換所を保有

原子力発電 大間原子力発電所(建設中):

2008年4月に原子炉設置許可を得て、5月に着工

- フルMOX-ABWR(**138**万kW)としてプルサーマル政策に貢献

自由化対応ビジネス

- IPP電源**52**万kW、PPS向け卸電源**32**万kW^{*2}
- 卸電力市場での販売(2006年3月期~)

多角化事業

海外発電事業

「第2の柱」として、事業規模と収益貢献の拡大に取り組む

- **5**カ国/地域、**17**件が操業^{*3}
- 出力(持分ベース):約**280**万kW^{*3}

新たなビジネス

エネルギーと環境分野から次世代のビジネス創出

- 再生可能エネルギー:風力発電**21**万kW^{*2}(国内**9**地点)
- 石炭販売ビジネスの推進

*1 自家用除く

*2 出資持分割合は考慮せず

*3 2008年6月末現在(それ以外は2008年3月末現在)

企業理念

わたしたちは人々の求めるエネルギーを不断に提供し、
日本と世界の持続可能な発展に貢献する

- 誠実と誇りを、すべての企業活動の原点とする
- 環境との調和をはかり、地域の信頼に生きる
- 利益を成長の源泉とし、その成果を社会と共に分かち合う
- 自らをつねに磨き、知恵と技術のさきがけとなる
- 豊かな個性と情熱をひとつにし、明日に挑戦する

